

予定では「全国学力・学習状況調査結果」についての特集でしたが、その前に急遽、運動会特集を発行しますことをご了承ください。

## 奇跡の運動会大成功！

台風17号が日本列島に近づき、3連休中の実施が危ぶまれた令和時代最初の運動会は、四郷っ子や保護者・地域・ご来賓の皆さん、そして職員（さらに銅像の伊藤小左衛門さん）の願いが通じたのか、予定通りの21日に実施でき、奇跡的にほとんど雨に降られることなく、そして熱中症の心配もほとんどない絶好の環境で、プログラム通り（念のため、雨天時短縮バージョンも作成しました）に最後まで進行できました。感動あり、笑いありの連続でした。後片付けも5・6年生や職員だけでなく、保護者・地域・ご来賓の皆さん、そして笹川中学校の生徒の皆さんのご協力もあって、テントの片付け等スムーズに終了できました。また、PTA競技の地区対抗綱引きは、安全に、そして運動会を盛り上げていただきました。選手の皆様、お疲れ様でした。



2学期が始まって、2週間という短い練習期間の中、子どもたちは暑さにも耐え、集中してよくがんばったと思います。特に5・6年生は、応援や放送、準備や出発、決勝審判等、数多くの係仕事もあり、目まぐるしい2週間だったと思います。例えば応援合戦は、外での練習は1回もなく、



ほとんどぶっつけ本番でした。赤白の応援団長さんを中心に、5・6年生が給食時間に下級生の教室まで応援歌や動きを教えに行き、まさに必死でした。閉会式での団長さんの涙は、校長の私の涙を誘いました。1・2年生や3・4年生の表現に組体操要素を組み入れたのも、5・6年生へのあこがれがあったのではないかと想像します。それでも、やはり5・6年生の表現運動の技の難易度や表現力は別格で、今年も会場

全体に「感動」を与えてくれました。6年生最後の運動会を、5年生は体格や経験の違いがあっても最後までしっかりサポートし、そして6年生は下級生によいお手本を示してくれました。

昨年の運動会でも子どもたちに伝えたのは、「失敗を恐れず、最後まであきらめず、一生懸命に動く」ことでした。今年の運動会では、5・6年生の係仕事の移動中はもちろん、競技・演技後、退場門を通り過ぎるまでは駆け足、徒競走ゴール後の応援は座った姿勢でというマナー、体操服や赤白帽子を着用するというけじめ、そして水筒の置き方や靴の並べ方に至るまで、ほぼ達成できたように思います。何より、どの子の競技・演技は最後まで手を抜かず、真面目にやり遂げたことが素晴らしかったです。例えば、担任（下剋上に会いましたが…）率いる6年生の3回戦騎馬戦、5年生の長時間に渡る3回戦綱引き、4年生のムカデ競争で、あるチームは、ほんの少しゴールラインに届かなかったことに気づき、再度戻って最後までやり遂げた正直さにも感動しました。どの学年の子どもたちもたくましく成長したなあ、学校行事って大切だなあと改めて実感しています。



保護者の皆様、練習中のお子さんの着替えやお茶の準備、前日の場所取り、当日のお弁当作り、そしてお子さんへの精一杯の応援など、お世話かけました。また、PTA本部・専門部の皆様、これまでの企画運営、準備や片付け、交通整理に至るまで本当にありがとうございました。